

価値創造プロセス

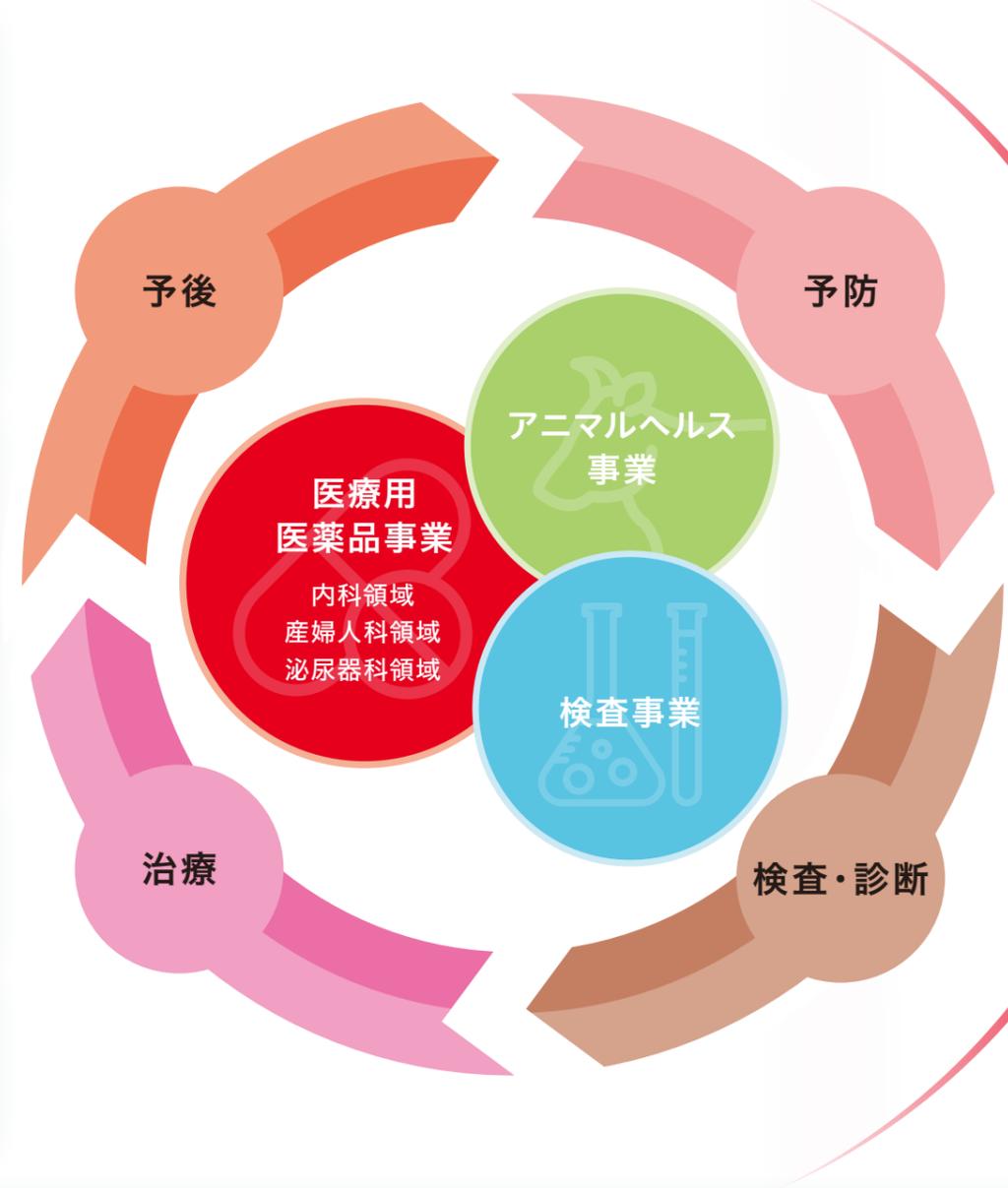
あすか製薬ホールディングスは、100年にわたり培った「あすかのDNA」を成長の源泉とし、医療用医薬品事業・アニマルヘルス事業・検査事業を展開し「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー」を目指しています。こうした価値創造の循環を通じて、ヘルスケア領域における社会課題の解決に貢献していきます。



- 11のマテリアリティ**
- 有効で安全な医薬品の安定供給
 - 女性の社会進出への貢献
 - アンメットメディカルニーズへの対応
 - 動物の健康
 - 健康寿命の延伸

女性の健康への貢献
アニマルヘルスへの貢献 ほか

- 財務資本**
売上高：604億円
営業利益率：8.4%
ROE：8.2%
- 製造資本**
設備投資額：12億円
生産拠点：いわき工場
- 知的資本**
研究開発費：42億円
- 自然資本**
CO₂排出量：10,780t-CO₂
電力使用量：10,702千kWh
水使用量：138.73千km³
- 社会関係資本**
主要事業所：23拠点
- 人的資本**
従業員数：747名(連結)



- 経済価値**
2025年度目標(連結)
売上高：700億円
営業利益率：8%
ROE：8%
- 社会的価値**
高品質な医薬品の安定供給
オープンイノベーションによる創薬の推進
トータルヘルスケアに向けた新たな取り組みと価値提供
女性のQOL向上、女性活躍推進
人と動物の共生
ヘルスリテラシーの向上
予防医療・未病改善

目指す姿

スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの徹底 / サステナブル経営

経営理念： 先端の創薬を通じて 人々の健康と明日の社会に貢献する